

第2回成田市リサイクルプラザ運営委員会議事録

- 1 開催日時 平成28年6月7日(火) 午前10時～12時
- 2 開催場所 成田市小泉344番地1
成田市リサイクルプラザ 2階 活動室
- 3 出席者 (委員) 片岡委員長 長尾副委員長 福原委員 関根委員 渡邊委員 稲阪委員
(事務局) 渡辺主査
- 4 傍聴者 なし
- 5 内容 第2回成田市リサイクルプラザ運営委員会
次 第

- (1) 開 会
- (2) あいさつ
- (3) 議 題

① 石けん粘土で遊ぼうについて

- 事務局 こねこね石けんで遊ぼうで7月1日号の広報に掲載します。今回は石けんを作るわけではなく、石けんで遊ぶとしているので、具体的にどのようなことをするかを決めてほしい。
- 委員長 リサイクルになるのか？時間が早く終わりすぎてしまうのではと心配です。担当の方に説明をお願いします。
- N委員 給食の廃油からできているので、リサイクルになります。途中省略になりますが、白い粘土状の石けんを2、3個渡して30分はこねこねして遊べる。出前講座を1万位でやっているが、利用したらどうか？紙芝居はどうか？市販の石けんでは手が荒れるけれど、こちらで作るものは手が荒れることなく、汚れが良く落ちることの説明はどうか？
- S委員 土曜日に出前講座ができるのか？お金が無料ならいいのだが。担当で出前講座の代わりにできないのか。
- 委員長 講師は呼ばず委員の手づくりでやりたい。石けん工場からパネルを借してもらえないか。
- N委員 パネルを借りて廃食油から石けんのつくり方を説明します。
- 委員長 家庭で苛性ソーダから石けんを作った場合の責任は負えないので、説明書は配りません。以前うちの会社でも、廃食油を燃料にした車を使っていました。家庭からの廃食油も資源になることを広めたい。
- N委員 印旛沼を汚さないようにと主婦だけで石けん工場を始めて30年、この働きが社会的に認められ、近々表彰されることになりました。このリサイクル教室でも、手づくり石けんの良さを広めたい。
- S委員 口紅や泥んこ汚れを手づくり石けんで洗って落ちるのを 実演したらいい。
- N委員 説明・実演・紙芝居をやってみます。
- 委員長 廃食油のリサイクルしやすくして身近なものが石けんです。廃食油をリサイクルすることで、河川を汚さないPRをする。

N 委員を中心に前半1時間で説明・実演・紙芝居、後半1時間こねこね石けんをします。

I 委員 準備はあるか？

委員長 粘土板とへらがあるとよい。初めてなのでリハーサルをやる為、12時集合とする。

W委員 粘土板がなければ、ビニールファイルでも代用できる。

N委員 竹べらの代わりは編み棒でいい。

I 委員 今回はあるものでやってみて、次もやるのであれば買ったらいい。

S委員 申込時に粘土板とへらがあれば持ってくるように伝える。わざわざ購入の必要はない。

② 牛乳パックからはがき・広告紙から小物入れについて

事務局 去年と同じで用意します。

委員長 準備しています。

W委員 準備しています。

委員長 8月6日(土)は10時から運営委員会をして、そのあと午後からリサイクル教室、牛乳パックからはがき・広告紙から小物入れづくりをします。

③ 布切れから帽子づくりの準備について

事務局 10人の募集に対して14人の申し込みが有り、キャンセル待ちの方もいます。毎年人気があり、年2回やってほしいとの意見もあります。

委員長 リサイクル教室は去年同様で変わりばえないし、フリーマーケットもないので、他の活動をしたい考えはある。帽子づくりは先生の謝礼があるので、年2回はできない。駐車場がなくても、ごみの搬入のない日曜日なら路上駐車にして、フリーマーケットがやりたい。

事務局 確かにフリーマーケットの問い合わせが多くあります。フリーマーケットをするとリサイクル家具もよく売れます。

委員長 もう少し様子を見ましょう。

(4) その他

事務局 視察研修は、10月18日(火)市川環境㈱の関連会社のハイパーサイクルシステムズ㈱になりますので、予定しておいてください。

(5) 閉 会